



のっぽの手

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル
 TEL 024(528)1211 FAX 024(528)1218
 E-mail center@f-npo.jp
 URL <http://www.f-npo.jp/>

ブックレット創刊！

多くの書き手の登場を期待します



理事長 清水修二

センターで出版をしてみたいというのは1年以上も前からの構想でした。今回うれしいことに第1号・第2号の同時発行にこぎつけました。会員の皆様には第1号をお届けします。私の講演録を「地域・自治体・NPO」のテーマで一書にまとめたもので、とっつきやすい読み物になっていると思います。第2号は、昨年行った県内NPO調査の報告書になっており、発行は少部数にとどめています。

巻末の「発刊にあたって」にも書いたとおり、本ブックレットは当センターの刊行物ではありませんが、NPOや市民活動をしている人の中に書き手を求め、いろんな人がさまざまなテーマで本を出すシリーズにできればと考えています。「うちのNPOの活動を本にまとめたい」とか「私の持論をぜひ披瀝したい」とかいう方がおられましたら、ご相談したいと思います。市民活動団体で一番ニーズのあるのは経営や会計ですので、その分野のものなどいかがでしょうか。

活動を形（文章）にする、というのは大事なことです。それも、内輪の読み物ではなく広く市民に向かって情報を発信する（読んでもらえる情報を提供する）ことができなければいけないと思います。今回の作品がその点でどうなのか、皆様のご意見をいただきたいものです。第1号は福島大学の講義（総合科目「NPO論」）の参考書にも指定します。

ところで本シリーズ第3号の編集がもう始まっています。「ふくしま県北市民活動ガイドブック（仮題）」です。2月7日に開催する「ふくしま市民活動フェスティバル」事業の一環として、突貫工事で一書を編むつもりです。県北市民活動の全体が見渡せるガイドブックで、100団体くらい載せられないものかと思って、いま奮戦中です。ご期待下さい。



ブックレット第1号・第2号



地域・自治体そしてNPO



福島県内NPOの現状と課題



尾瀬に魅せられて

会員 寺島 脩二

私が最初に尾瀬を訪れたのは、昭和45年と記憶しているから、かれこれ40年近く尾瀬に通っていることとなります。当時の尾瀬はゴミ箱があちこちに置いてありゴミが散乱していた時代でした。

尾瀬のゴミが社会問題化し、昭和47年に東京電力が音頭を取り、尾瀬から全てのゴミ箱を撤去し「ゴミ持ち帰り運動」を始め、当時各登山口でボランティアの人が入山者にポリ袋を配っていた記憶があります。

この尾瀬の「ゴミ持ち帰り運動」が地球規模で問題になっている、我が国における自然環境保護運動の先駆けとなったことは、あまり知られていないようです。

今でも年に2、3回尾瀬通いをしており、尾瀬に入るとゴミ一つなく、清々しい気持ちになると同時に、尾瀬の素晴らしい自然に感銘を受け、この自然を汚してはいけないという気持ちに緊張感さえ覚えることがあります。

以前に読んだ旅の雑誌で、東京電力尾瀬保護担当 竹内純子さんと尾瀬の写真を30年間撮っている山岳写真家 花畑日尚さんのエコ対談の中で、花畑さんが写真家でありながら尾瀬は写真で記録に残すより記憶に残したい場所とおっしゃっておりました。この記事を読んで、本当に尾瀬を知り尽くした人の言葉の重みと説得力を感じ、尾瀬の素晴らしさを表現するこれ以上の言葉はないと思いました。

今年も8月に2泊3日の日程で尾瀬に行く機会があり、尾瀬ヶ原の山小屋に宿泊しました。

小屋で花畑さんにお会いすることが出来、夕食後の小屋での写真談義の中で花畑さんは、最近の尾瀬の写真を見ていると木道から外れて撮っている作品を目にすることがあると嘆いておりました。

写真を見て木道から外れて撮ったことが分かるのでしょうか。とお聞きしたところ、30年間木道からのレンズワークで仕事をしていると、木道以外から撮ったマナー違反の写真は一目瞭然との言葉が返ってきました。

直接お聞きした花畑さんの重みのある言葉に、環境保全は人ごとでなく、一人ひとりの心の問題であることを強く感じました。

雨の3日間で満足する写真は撮れませんでした。花畑さんの言葉一つひとつに納得し、エコ運動の大切さを再認識させられ、雨の尾瀬を後にしました。

星に願いを～ふくしま情報ステーション～

福島駅東口にイルミネーションが灯り、冬のはじまりを告げました。この取り組みにともないステーション入り口に“星に願いを”キャンペーンとして募金BOXの設置をおこないました。100円以上ご協力をいただくと、星形シールに願いごとを書いて駅前広場のボードに貼ることが出来ます。

また、パセオ通りのイルミネーションも点灯されました。こちらは1000円募金をおこなっております。

ひとつ一つの灯りのため、そして、来年もまたこの美しくあたたかい冬の風物詩が続くように、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



ステーション内に設置した募金BOX

『寂しがりやのまちの駅』

～第11回まちの駅全国大会「まちの駅全国フォーラムin富士」に参加して

開催日時：11月8日（土）13：30～ 会場：ロゼシアター

情報ステーション 齋藤 美佐

まちの駅全国大会には、全国から250名の駅長さんが集りました（私は会場に行くまで、自分が「駅長さん」と呼ばれることを知りませんでした）会場にたどり着くと、馴染みの仲間同士が早くもロビーで盛り上がり活気にあふれていました。総会、役員あいさつの後、基調講演で、日本ウォーキング協会会長村山友宏さんが「感幸遊歩都市」をキーワードにお話しされました。

分科会では“つながり”をテーマに事業への取り組み5事例の発表がおこなわれ、個性豊かな発表者の熱心で情熱的な事例紹介がおこなわれました。補助金を受けた事業が多く、独自性が薄く、事例としては少し残念でしたが、地域性が垣間見えて参考になりました。

この日ロゼシアターの会場で一人で過ごすうちに、私は一つの話の思い出していました。あるとき、私が経済不況を嘆いていたら、友人が言いました。「お金は寂しがりやなんだよ、だからお友だちのいっぱいいるお金持ちのところへ行ってしまおうんだよ」。どうりで、仲間のいない私の懐にはお金はやってこないのね…と、そのときは妙な納得をしてしまいました。どうやらこの「まちの駅」も仲間意識がとても大切なようです。ちなみに会津のまちの駅は70カ所余が登録、どんどん増えた仲間の連携でまちづくりをすすめているようです。

今後は市内にまちの駅6団体以上（登録料が団体料金になりオトク）の登録増をめざし、連携をとおして地域づくりの一翼を積極的に担うべきであると考えました。

寂しがりやの当まちの駅は、いま、切実に仲間を求めています。①無料休憩（イスが1つでも）②トイレの提供、③地域の情報が置いてある、この3つの条件さえ整えば、官民間わず、登録可能です。点から線に、そして面にならなければ、まちの駅の充実した活用にはならないのです。商店街や各団体の皆さまへ…求む！まちの駅仲間！！でございます。

<まちの駅HP まちの駅どっとこむ <http://machinoeki.com>>

NPO会計ひとくちアドバイス② 「パソコン経理」

ITコンサルティング早川事務所
代表 早川哲郎

私が経理の仕事に入ったころはオフィス・コンピュータ、略してオフコンが普及し始めたころでした。今と比べれば価格は高く性能は低いものでしたが、経理事務では画期的に効率化が進みました。今では個人でパソコンが持てるようになり、経理ソフトも入手しやすくなりました。そんな時代にパソコン経理をやらない手はありません。

パソコン経理では経理ソフトの選択は迷うところです。NPO向けの経理ソフトの種類も増え値段もさまざまですが、高いソフトが良いわけではありません、そのNPOの規模や運営にあったソフトを選ぶのが大切です。

最近、インターネットを介して試用版をダウンロードできるソフトが多くなりました。市販されているソフトで不都合があることはありませんが、使い勝手は少しずつ違います。それはパンフレットや仕様書を見ただけでは分かりにくいものですから、実際に使ってみるのが一番です。

初めてパソコン経理をやる方には手間かもしれませんが、後で後悔しないためにも導入時に少し時間と手間をかけて、ぜひ無料の試用版や体験版を入手して実際の経理で使ってみると良いと思います。来年度導入を目指すならば、今頃から準備してはいかがでしょうか。

福島市市民活動サポートセンターから

11月からはじまった「NPOマネジメント講座・基礎から学ぼう！NPO入門講座」。おかげさまで定員を上回るお申し込みをいただきました。残すところあと2回。こちらはまだ若干空きがありますので、是非ご参加ください。

また2月からは「市民活動ステップアップ講座」全4回も予定しています。詳細は福島市市民活動サポートセンターへお問い合わせください。

「NPOマネジメント講座」

第3回 1月10日(土) ウィズもとまち大会議室 13時30分～15時30分

「NPOを運営しよう！ NPO設立後の課題について」

講師 清水 修二 氏 (福島大学副学長)

第4回

2月14日(土) チェンバおおまち福大サテライト 10時30分～15時30分

2月21日(土) チェンバおおまち福大サテライト 10時30分～15時30分

「NPOを運営しよう！ NPO会計・税務講座」

講師 加藤 英夫 氏 (かとう会計事務所)

※2月からは「市民活動ステップアップ講座」も予定しています。(全4回)

詳細は次回お知らせします。

福島市市民活動サポートセンター

開館時間 午前10時～午後9時30分

休館日 毎週火曜日・年末年始(12/29～1/3)

〒 960-8044

福島市早稲町4-16 ラヴィバレー 番丁3階

電話：024-526-4533 FAX：024-526-4560

電子メール：f-ssc@bz01.plala.or.jp

ホームページ：<http://www.f-ssc.jp/index.html>



「のっぽの手」では誌面充実の為、理事、職員はもとより、会員様、各団体様よりの投稿をお待ち申し上げております。当センターへのご意見、日頃の活動に関する事、はたまた「よもやま話」などございましたらぜひ下記宛にお寄せいただければと思います。よろしくお願いたします。

ふくしまNPOネットワークセンター事務局 <http://www.f-npo.jp/>

〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビルB1

TEL 024-528-1211 FAX 024-528-1218

E-mail

center@f-npo.jp

福島市市民活動サポートセンター

<http://www.f-ssc.jp>

